

エコライフDAY & WEEK

埼玉2023(冬)

～ストップ!地球温暖化～



1 エコライフDAY & WEEK埼玉2023(冬)成果

参加した人数 **1,979**人

※小・中・特別支援学校生 393人と、そのご家族及び教職員、市職員、市民の皆様が参加しています。

削減した二酸化炭素の量 約 **7.8** トン

※1人当たりの削減量は約4.0kgです。

ブナの木：約716本
(スギの木：約562本)
の1年間に吸収する
二酸化炭素量に相当

- ※1年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木1本が約11kg(独立行政法人森林総合研究所調べ)、スギの木1本が約14kg(林野庁HP)として換算しています。
- ※市と富士見市環境施策推進市民会議推進員と協働し、市内の小・中・特別支援学校や市民の方へ参加を呼びかけています。
- ※今回の実施より、ペーパーレス化のため、参加シート(参加の有無や感想の記載)の配布・回収を取りやめました。
- ※昨年度より、1日単位の取組に加えて1週間単位の取組も合算しています。

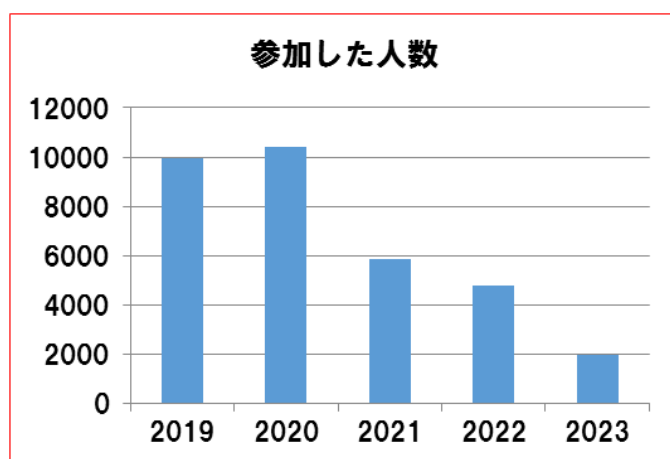
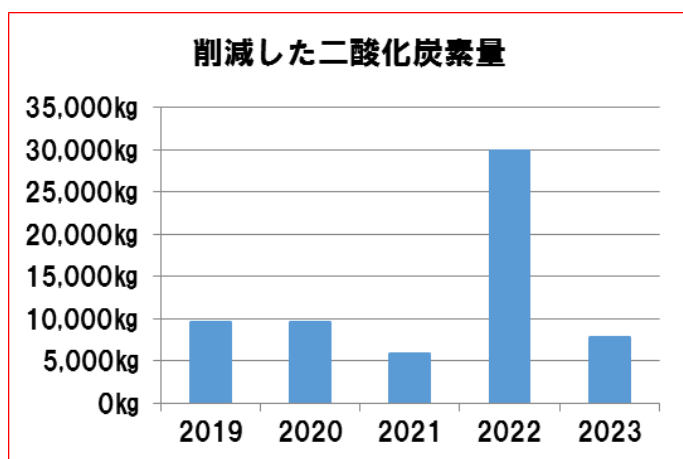
2 集計結果

区分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小学校	963人	3143kg
中学校	310人	1532kg
特別支援学校	42人	133kg
富士見市環境施策推進市民会議	84人	447kg
市役所	545人	2482kg
その他(個人等)	35人	134kg
合計	1,979人	7871kg

※構成表の値は、小数点以下を四捨五入して計算しています。

3 エコライフ DAY・WEEK（冬）の推移

実施年	参加した人数	削減した二酸化炭素量	1人当たり削減量
2023	1,979人	7871kg	4.0kg
2022	4,776人	29,913kg	6.3kg
2021	5,861人	5,904kg	1.0kg
2020	10,408人	10,545kg	0.9kg
2019	9,959人	9,645kg	1.0kg



4 参加者の感想・工夫点など

《小学生》

- 日中は、部屋の電気を消して、カーテンを開けて過ごした。出かける時も、水筒に温かい飲み物を入れて持ち歩いている。
- 早寝早起きをして電気を使う時間を減らした。洗濯物は外へ干し、乾燥機を使用しなかった。
- リビングで宿題したり、ひとつの部屋にみんなで集まって過ごすようにしている。

《中学生・高校生・一般》

- 暖房器具つけずに洋服で調整した。
- こまめに電気を消したり、移動はなるべく徒歩か自転車ですんでいます。
- ご飯やおかずを残さず食べることで、二酸化炭素を減らせると知り驚いた。
- お風呂の残り湯を洗濯機の衣類洗い水に再利用した。